



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

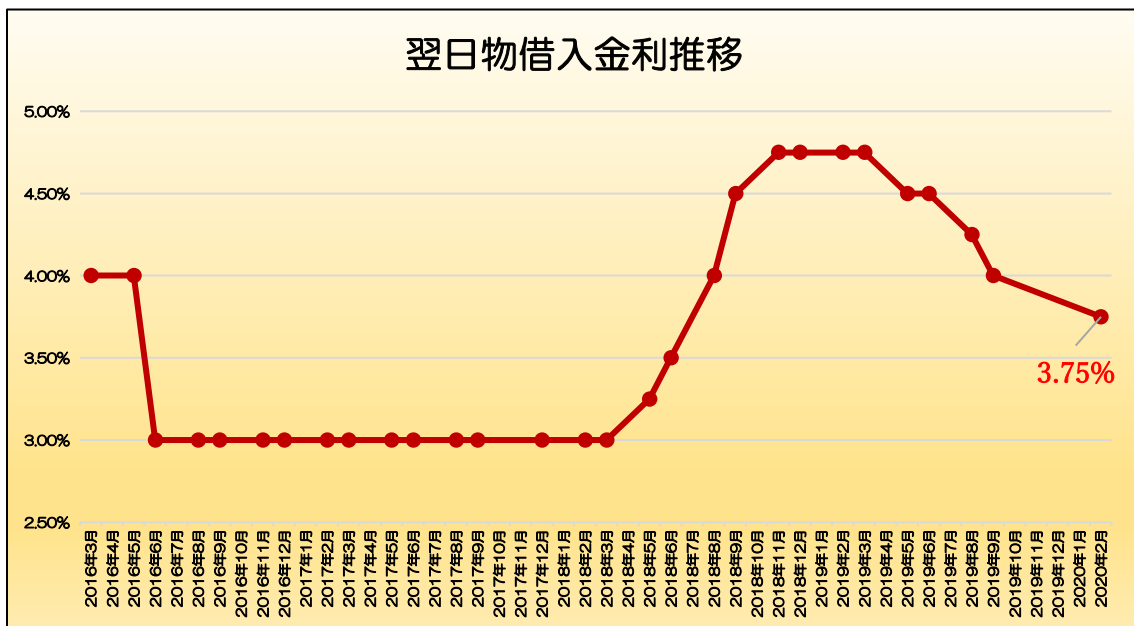
2020年2月7日

フィリピン利下げ
3.75%に

フィリピン中央銀行(BSP)は6日、政策金利の翌日物借入金利を0.25%引下げ、3.75%とすると発表した。

物価上昇率は中銀の予測の範囲内に収まっているが、世界的な新型コロナウイルスの流行による今後の経済的影響などを考慮し、予防的に利下げして景気を下支えする。

中銀は2020年のインフレ率について、2~4%の範囲に収まるとの予測を維持しているが、マニラ近郊のタール火山の噴火により、経済損失が出ているほか、新型コロナウイルス肺炎の感染拡大で中国の工場が影響を受けるなど、世界経済の先行きに対する不透明感が高まったことから利下げを判断した。



出所: BSP

以上